

デジタルワイヤレス設定器 ネオパネル™ワイヤレス 形QY7265 RF受信機 形GY7020S0002

■概要

ネオパネルワイヤレス（形番QY7265）は、弊社空調制御用コントローラ用デジタルワイヤレス設定器です。

温度検出素子を内蔵しており、センサ機能とリモコン機能を併せもっています。

空調入切・温度設定など空調機器の各種操作を行うことのほかに、外気温度表示・降雨中表示などの情報も提供することができます。

さらに、タイムスケジュールの延長も行えるため、残業時の空調にも対応しています。

ネオパネルワイヤレスは、特定小電力無線を用いて温度計測データおよび空調機器の操作設定などの設定情報を天井裏に取り付けられたRF受信機（形番GY7020S0002）を介して弊社コントローラ（Inflex™ AC/GC/GD/VC/FC）に送ります。

本製品は一般ビル用空調をはじめ、いろいろな室内用途に応用できます。



■特長

- 空調入切・温度設定・風量切替が行えます。
- 照明スイッチと同形でどのような室内にもよく合うデザインで、お部屋にあった色を選択できます（色の選択はカスタマイズ扱いです）。
- 見やすい液晶表示を使用しています。
- 延長運転により残業時などの空調にも対応できます。
- グループ一括操作ができます。
- 室内にいて外気温度や降雨状態が分かります（Inflex™ ZMを使用するシステムの場合）。
- 省配線
 - 配線工事費を削減でき、工期の短縮化を図れます。
 - 難工事の場所に設置することができます。
- 柔軟性
 - 任意の場所で測定できます（壁面以外の設置も可能です）。
 - レイアウト変更時、簡単に移設できます。

電波法に関する注意！！

本製品は、電波法に基づく特定小電力無線機器として、技術基準適合証明を受けています。

次の点を守ってお使いください。

- 分解、改造をしないでください。
分解、改造は法律で禁止されています。
- 銘板ラベルをはがさないでください。
ラベルがないものの使用は禁止されています。
- 本製品は、日本国外での電波法には準拠していません。
日本国内でご使用ください。

安全上の注意

ご使用前に本説明書をよくお読みのうえ、仕様範囲内で使用目的を守って、正しくお使いください。
お読みになったあとは、本説明書をいつでも見られる所に必ず保管し、必要に応じ再読してください。

使用上の制限、お願い

本製品は、一般機器での使用を前提に、開発・設計・製造されています。

本製品の働きが直接人命にかかわる用途および、原子力用途における放射線管理区域内では、使用しないでください。一般空調制御用として本製品を放射線管理区域で使用する場合は、弊社担当者にお問い合わせください。

特に ・人体保護を目的とした安全装置 ・輸送機器の直接制御(走行停止など) ・航空機 ・宇宙機器など、安全性が必要とされる用途に使用する場合は、フェールセーフ設計、冗長設計および定期点検の実施など、システム・機器全体の安全に配慮した上で、ご使用ください。

システム設計・アプリケーション設計・使用方法・用途などについては、弊社担当者にお問い合わせください。

なお、お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

■ 設計推奨使用期間について

本製品については、設計推奨使用期間を超えない範囲でのご使用をお勧めします。

設計推奨使用期間とは、設計上お客様が安心して製品をご使用いただける期間を示すものです。

この期間を超えると、部品類の経年劣化などから製品故障の発生率が高まることが予想されます。

設計推奨使用期間は、弊社にて、使用環境・使用条件・使用頻度について標準的な数値などを基礎に、加速試験、耐久試験などの科学的見地から行われる試験を行って算定された数値に基き、経年劣化による機能上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期までの期間です。

本製品の設計推奨使用期間は、下表の通りです。

なお、設計推奨使用期間は、寿命部品の交換など、定められた保守が適切に行われていることを前提としています。

寿命部品については、保守の項を参照してください。

製品名	設計推奨使用期間
ネオパネルワイヤレス	10年
RF受信機	15年

■ 輸送時のお願い

本製品は、リチウム金属電池を使用しています。

本製品に使用するリチウム電池を同梱(組込)して航空 / 船舶輸送する場合は、IATA DGR / IMDG Code に従い輸送を行ってください。

輸送会社に「リチウム金属電池を使用した内容物」であることを伝え、輸送会社の指示に基づいた手続きをしてください。

法令に基づく表示などを行わずに空輸、海上輸送すると、航空法、並びに船舶安全法に抵触し、罰せられることがあります。

■ 「警告」と「注意」



警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

■ 絵表示



記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を禁止する場合に表示(左図は分解禁止の例)。



記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を義務付けする場合に表示(左図は一般指示の例)。

△ 警告



本製品はペースメーカーから10 cm以上離して運用してください。
ペースメーカーに誤作動を与える可能性があります。

△ 注意



本製品は仕様に記載された使用条件（温度、湿度、電圧、振動、衝撃、取付方向、雰囲気など）の範囲内で使用してください。
火災や故障の原因となるおそれがあります。



本製品は仕様に定められた定格の範囲で使用してください。
守らないと故障の原因となるおそれがあります。

⚠ 注 意



取り付けや結線は、安全のため、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。
施工を誤ると、火災や感電のおそれがあります。



本製品を電磁界の影響のある場所へは設置しないでください。



本製品を使用する前に、近くで他の特定小電力無線機器が運用されていないことを確認してください。
本製品と同じ周波数帯（420～430 MHz）を使用する特定小電力無線機器が、近くで運用されている場合、電波干渉のおそれがあります。



本製品内に配線くずや切り粉などを入れないでください。
故障の原因となるおそれがあります。



本製品は医療用機器から1 m以上離して運用してください。
医療用機器に誤作動を与えるおそれがあります。



本製品に定格以上の電圧を印加した場合は、安全のために新品に交換してください。
そのまま使用すると、故障や発熱の原因となるおそれがあります。



本製品を分解しないでください。
故障したり感電するおそれがあります。



バッテリーは正しく取り付けてください。
短絡したり、取り付け方を誤ると、発熱したり破裂するおそれがあります。



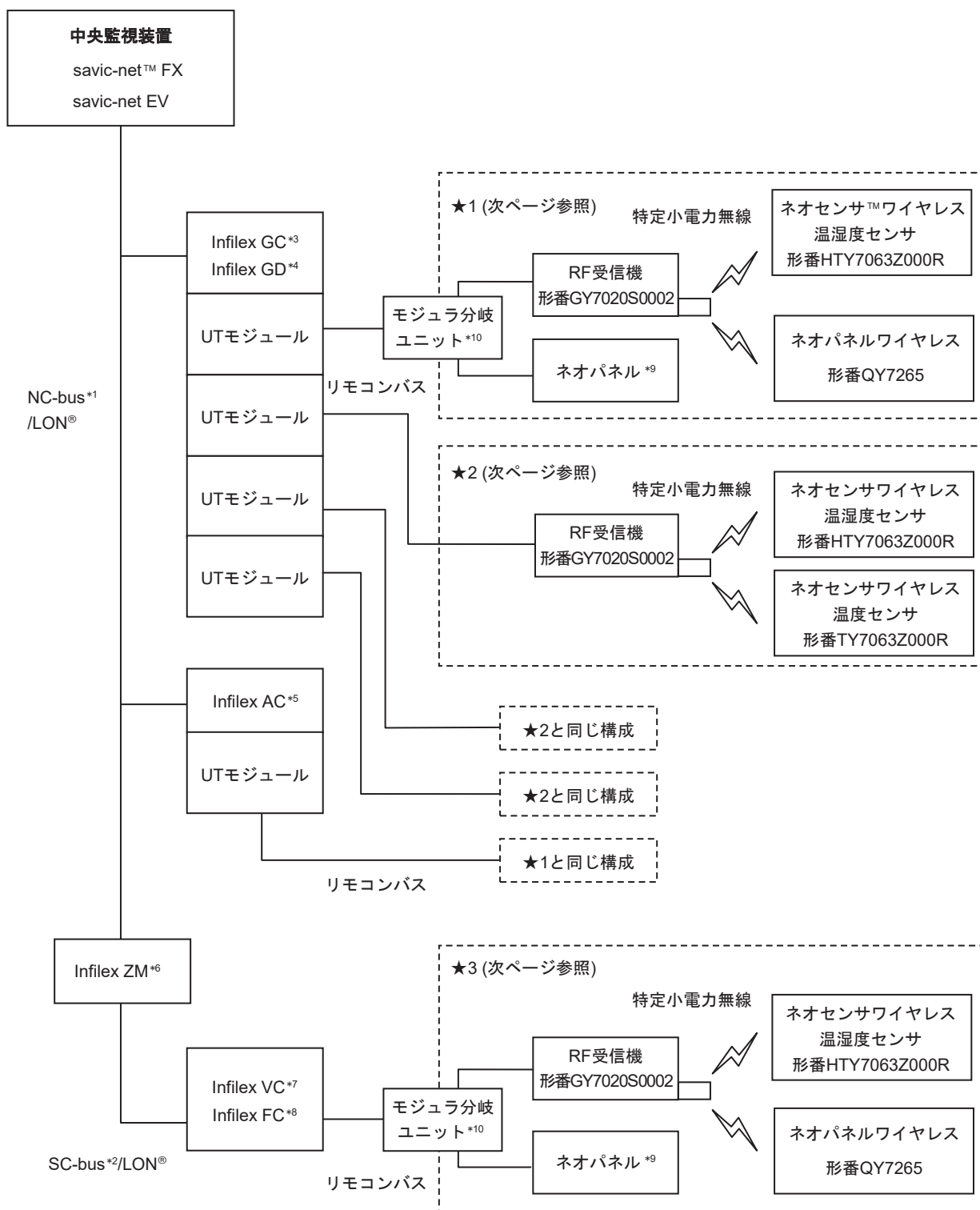
バッテリーを短絡したり、充電しないでください。
発熱したり、爆発するおそれがあります。



使用後のバッテリーは火中に投げたり、そのまま廃棄しないで、各自治体の条例に従って適切に処理してください。
破裂したり発火の原因となります。

重要 !! ●本製品を通信範囲外へ移動させないでください。
空調制御に影響を与えるおそれがあります。

■ システム構成



- *1 NC-bus は、ニューコントローラバスの略称です。
 *2 SC-bus は、サブコントローラバスの略称です。
 *3 Inflex GC は、汎用コントローラです。
 *4 Inflex GD は、汎用データギャザリングパネルです。
 *5 Inflex AC は、エアハンドリングユニットコントローラです。

- *6 Inflex ZM は、ゾーンマネージャです。
 *7 Inflex VC は、VAV コントローラです。
 *8 Inflex FC は、FCU ユニットコントローラです。
 *9 ネオパネル2 (形番QJ-1301)、またはネオパネル (形番QY7205/形番QY7215/形番QY7225) を接続できます。
 *10 RF受信機は、モジュラ分岐ユニット (形番DY7203A0000) を使用することで、ネオパネル2/ネオパネルと併設できます。

図1 システム構成図

★1、★2：

Inflex AC/GC/GDには弊社UTモジュール（形番RY5001U0000）を用い、RF受信機を接続してください。
次に制約を記載いたします。

- Inflex ACにはUTモジュールは1台まで。
- Inflex GC/GDにはUTモジュールは4台まで。
- Inflex AC/GC/GD1台につきネオパネル2（形番QJ-1301）／ネオパネル（形番QY7205／形番QY7215／形番QY7225）／ネオパネルワイヤレス（形番QY7265）は1台まで（ただし同一UTモジュール内での連動は可能）。
- UTモジュール1台につきRF受信機は1台まで。
- RF受信機に対して形番HTY7063Z000R/形番TY7063Z000R/形番QY7265は、任意の組み合わせで2台まで。

★3：

Inflex VC/Inflex FCには直接RF受信機を接続してください。

次に制約を記載いたします。

（参照）『表1 Inflex VC/FC接続パターン』

- RF受信機は1台まで。
- RF受信機に対して形番HTY7063Z000R/形番TY7063Z000R/形番QY7265は、任意の組み合わせで2台まで。

表1 Inflex VC/FC接続パターン

必要 設定器 台数	目的	UTアドレス					
		1			2		
		～	センサアドレス		～	センサ アドレス	
			0	1		0	1
なし	温度制御のみ		ネオセンサワイヤレス（温度）*1				
	温度制御＋計測温度1点		ネオセンサワイヤレス（温度）*1		ネオセンサワイヤレス（温度）		
	温度制御＋計測湿度1点		ネオセンサワイヤレス（温湿度）*1				
1台	温度制御のみ		ネオパネルワイヤレス *1				
			ネオセンサワイヤレス（温度）*1		ネオパネルワイヤレス		
			ネオセンサワイヤレス（温度）*1		ネオパネル（有線）		
	温度制御＋計測温度1点		ネオパネルワイヤレス *1		ネオセンサワイヤレス（温度）		
			ネオセンサワイヤレス（温度）*1		ネオパネルワイヤレス		
			ネオセンサワイヤレス（温度）*1		ネオセンサワイヤレス（温度）	ネオパネル（有線）	
	温度制御＋計測湿度1点		ネオセンサワイヤレス（温湿度）*1		ネオパネルワイヤレス		
			ネオセンサワイヤレス（温湿度）*1		ネオパネル（有線）		
2台	温度制御のみ		ネオパネルワイヤレス *1		ネオパネル（有線）		
			ネオパネルワイヤレス *1		ネオパネルワイヤレス		
			ネオセンサワイヤレス（温度）*1		ネオパネルワイヤレス	ネオパネル（有線）	
	温度制御＋計測温度1点		ネオパネルワイヤレス *1		ネオパネルワイヤレス		
			ネオパネルワイヤレス *1		ネオセンサワイヤレス（温度）	ネオパネル（有線）	
			ネオセンサワイヤレス（温度）*1		ネオパネルワイヤレス	ネオパネル（有線）	
	温度制御＋計測湿度1点		ネオセンサワイヤレス（温湿度）*1		ネオパネルワイヤレス	ネオパネル（有線）	

* 還温度制御付比例タイプの場合、制御に用いる温度以外の温度計測・湿度計測ができません。

（注記）

- ネオパネル（有線）：ネオパネル2（形番QJ-1301）／ネオパネル（形番QY7205／形番QY7215／形番QY7225）
 ネオパネルワイヤレス：形番QY7265
 ネオセンサワイヤレス（温度）：形番TY7063
 ネオセンサワイヤレス（温湿度）：形番HTY7063

*1 温度制御に使います。

■ 形番構成

● 本体形番

形 番						概 要
QY7265						
	A					日本語版
		1				風量切替なし
		2				風量切替1ボタン（自動→弱→中→強 循環式）
		3				風量切替4ボタン（自動・弱・中・強 独立） * オプション機能は追加できません。次のケタは0のみとなります。
			0			オプション機能なし
			1			タイマー機能付
			2			温度表示切替機能付
			3			摂氏華氏切替機能付
			4			タイマー＋温度表示切替機能付
			5			タイマー＋摂氏華氏切替機能付
			6			温度表示切替＋摂氏華氏切替機能付
			7			タイマー＋温度表示切替＋摂氏華氏切替機能付
				0		ロゴあり
				1		ロゴなし
					R	特定小電力無線
						無塗装（ピュアホワイト）
					－1	ウォームホワイト*
					－2	ペイルイエロー*
					－3	ペイルピンク*
					－4	ダークブラウン*
					－5	シルバー*
					－6	ダークゴールド*
					－7	ダークシルバー*
					－8	パールホワイト*

* 標準色以外の色はカスタマイズ扱いです。

● RF受信機

形 番	概 要
GY7020S0002	RF受信機

■ 仕 様

● ネオパネルワイヤレス

(1/2)

項 目			仕 様		
温度計測範囲			0～40℃		
温度計測精度			±1.0℃* ¹ （ただし、コントローラにてゼロ微調が可能）		
時定数（温度計測）			6 min以内（参考値:風速0.15 m/sにおいて）		
使用環境条件	定格動作条件	0～40℃ 10～75 %RH（結露なきこと） 振動 最大3.2 m/s ² （10～150 Hz）			
	輸送保管条件	－20～60℃ 5～90 %RH（結露なきこと） 振動（保管） 最大3.2 m/s ² （10～150 Hz） 振動（輸送） 最大9.8 m/s ² （10～150 Hz、梱包状態）			
電源仕様	電源電圧	DC3 V（リチウム電池より供給）			
	電池寿命	3年（電池2個使用、周囲温度15～35℃にて） 電池切れ予告信号付			
取付			（参照）『■ 取付』		
温度検出素子			サーミスタ		
通信	特定小電力無線	通信周波数帯	426 MHz帯		
		チャンネル数	1～9チャンネル （参照）『■ 設定作業 ● 概要』		
		センサ台数/ チャンネル	接続条件があります。 （参照）『■ 設定作業 ● 概要』		
		グループ数	99グループ （参照）『■ 設定作業 ● 概要』		
		伝送距離	約20 m（ただし、受信機とセンサ間に天井、オフィス什器以外の金属遮蔽物がない設置環境の場合）		
		アドレス	接続条件があります。 （参照）『表1 Inflex VC/FC接続パターン』		
主要部材料			カバー、ベース、電池ふた ：ABS樹脂 ホルダー、シート ：ポリカーボネート樹脂		
色 （標準色以外はカスタマイズ扱い）			標準色	ピュアホワイト	
			形番指定	－1	ウォームホワイト[日本塗料工業会 B15-85A]
				－2	ペイルイエロー[日本塗料工業会 B19-85C]
				－3	ペイルピンク[日本塗料工業会 B05-85B]
				－4	ダークブラウン[日本塗料工業会 B19-40D]
				－5	シルバー
				－6	ダークゴールド
				－7	ダークシルバー
				－8	パールホワイト
質量			本体250 g（リチウム電池2個、取付ブラケット込）		
設定分解能			0.5℃		
設定レンジ			15～30℃（ただしコントローラにて設定上下限の指定が可能）		
操作機能			●機器発停（ON/OFF） 中央との後優先、中央から発停操作の許可・禁止が可能 ●温度設定 中央との後優先、設定上下限の指定が可能 ●風量切替（L/M/H/AUTO）（FCU用のみ） ●延長運転* ² 、* ⁵ 停止時刻の延長 ●表示切替 外気温度表示/室内温度表示の切替 ●温度単位切替 摂氏（℃）/華氏（°F）の切替		

項 目	仕 様
表示機能 ◎印はカスタマイズ扱い	●機器運転状態（ON/OFF） ●設定温度 ●風量（L/M/H/AUTO）（FCU用のみ） ●冷暖状態 ●電池残量 ◎ 外気温度^{*3} ◎ 室内温度^{*3} ◎ 降雨中^{*4}

*1 周囲環境を考慮しない、機器固有の精度です。

*2 Inflex AC/GC/GDに接続した場合は、実現できません。

*3 外気温度か室内温度のどちらか一方を常時表示させる場合は、カスタマイズ扱いになりません。

*4 別途降雨センサが必要となります（降雨センサはIFC、IVCなどには直接接続しません）。

*5 接続される製品やシステム構成により実現できない場合があります。

● RF受信機

項 目			仕 様
電源仕様	定格電圧		DC7.0~16.0 V 上位コントローラより供給
	消費電力		0.15 VA以下
接続			コネクタ付きケーブル（形番940-SP-3088R）
使用環境条件	定格動作条件		0~50℃ 10~90 %RH（結露なきこと） 振動 0.33 G以下（10~150 Hz）
	輸送保管条件		−20~60℃ 5~95 %RH（結露なきこと） 振動（保管） 0.33 G以下（10~150 Hz） 振動（輸送） 1 G以下（10~150 Hz、梱包状態）
通信	上位コントローラ通信	配線	LANケーブル EIA/TIA568（カテゴリ3以上）準拠 φ0.5×4P
		配線長	50 m以下
	特定小電力無線	通信周波数帯	426 MHz帯
		チャンネル数	1~9チャンネル (参照)『■ 設定作業 ●概要』
		受信機台数/ チャンネル	99台以下（設置位置の電波状況によっては、設置可能な台数が少なくなります） (参照)『■ 設定作業 ●概要』
		グループ数	99グループ (参照)『■ 設定作業 ●概要』
		伝送距離	約20 m（ただし、受信機とセンサ間に天井、オフィス什器以外の金属遮蔽物がない設置環境の場合）
		接続台数 （受信機1台 当たり）	2台以下（システム構成による）
主要部材料			変性PPE樹脂 UL-V0相当
色			ライトグレー
質量			300 g

■ 外形寸法

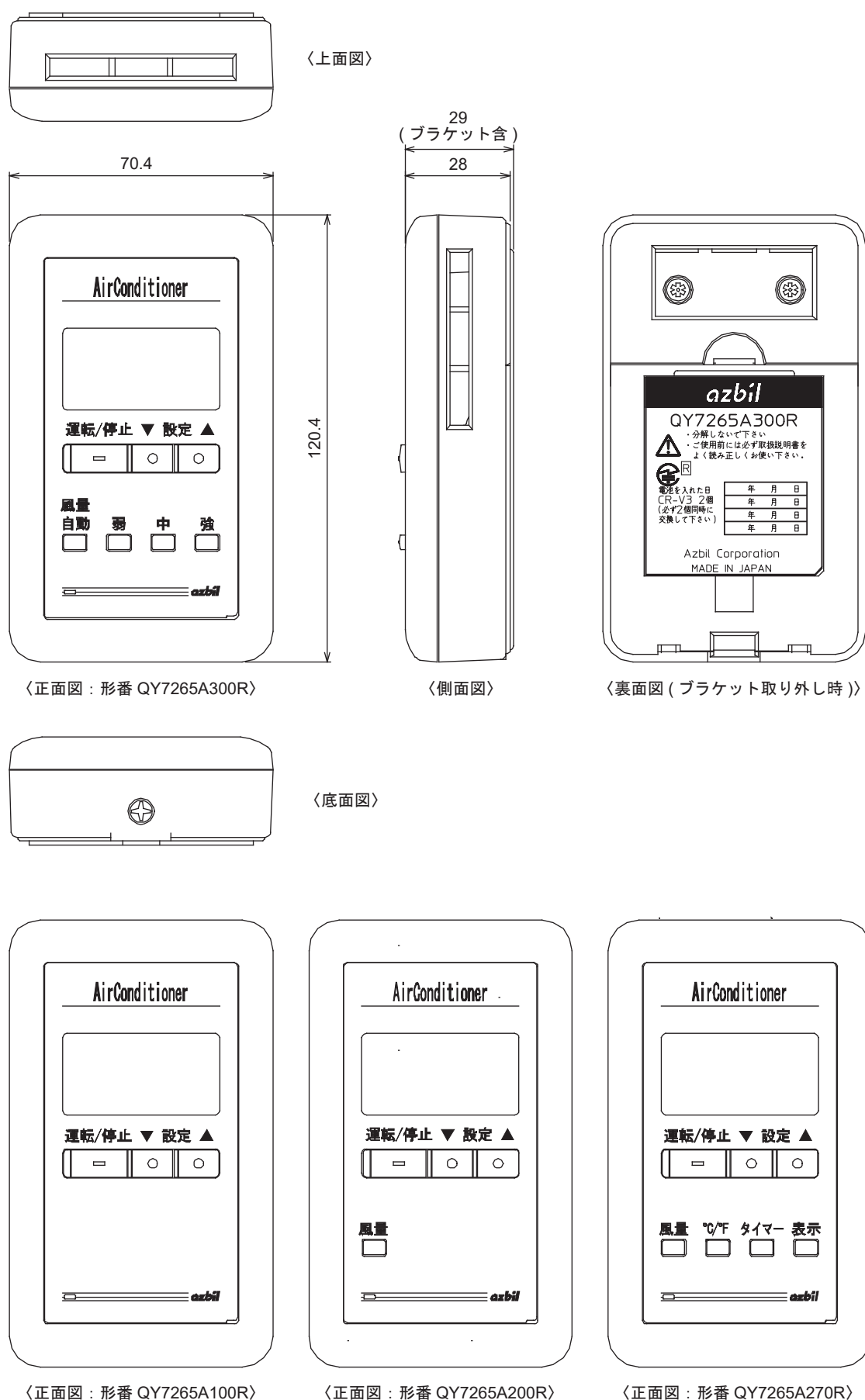


図2 ネオパネルワイヤレス外形図（単位：mm）

■ 機能の割付ルール

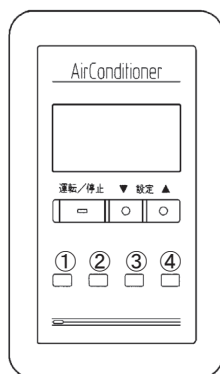


図3

Q7265					風量・追加機能・ボタン配置（図3参照）				社名ロゴ
					①	②	③	④	
A	1	0	0	1					あり
	1	1	0	1	タイマー				
	1	2	0	1	表示				
	1	3	0	1	°C/°F				
	1	4	0	1	タイマー			表示	
	1	5	0	1	°C/°F			タイマー	
	1	6	0	1	°C/°F			表示	
	1	7	0	1	°C/°F		タイマー	表示	
A	1	0	1	1					ロゴなし
	1	1	1	1	タイマー				
	1	2	1	1	表示				
	1	3	1	1	°C/°F				
	1	4	1	1	タイマー			表示	
	1	5	1	1	°C/°F			タイマー	
	1	6	1	1	°C/°F			表示	
	1	7	1	1	°C/°F		タイマー	表示	
A	2	0	0	1	風量				あり
	2	1	0	1	風量			タイマー	
	2	2	0	1	風量			表示	
	2	3	0	1	風量			°C/°F	
	2	4	0	1	風量		タイマー	表示	
	2	5	0	1	風量		°C/°F	タイマー	
	2	6	0	1	風量		°C/°F	表示	
	2	7	0	1	風量	°C/°F	タイマー	表示	
A	2	0	1	1	風量				ロゴなし
	2	1	1	1	風量			タイマー	
	2	2	1	1	風量			表示	
	2	3	1	1	風量			°C/°F	
	2	4	1	1	風量		タイマー	表示	
	2	5	1	1	風量		°C/°F	タイマー	
	2	6	1	1	風量		°C/°F	表示	
	2	7	1	1	風量	°C/°F	タイマー	表示	
	2	7	1	2	風量	°C/°F	タイマー	表示	

■ 取 付

● 取付上の注意

天井高2.5 m～3 mの場合、ネオパネルワイヤレスとRF受信機の伝送距離は、約20 m以下です。
ただし、電波にとって障害物となる金属構造物の影響により、短くなる場合があります。

● 取付方法と別途手配品

(1) RF受信機

取付方法	別途手配品
天吊棒に束線バンドで取付	束線バンド（現場手配）
天吊棒に金具取付	ネグロス社 形番69B（現場手配）
壁直接取付	M3～M5ねじ（現場手配）

(2) ネオパネルワイヤレス

取付方法	別途手配品
壁直接取付	—
JISボックス取付	ボックスカバーJIS C8340 取付寸法83.5 mm（現場手配）

● RF受信機の施工時の注意

- RF受信機は金属面に取付可能ですが、アンテナは金属面から出るように設置してください。また、金属面で囲われる場所での設置は避けてください。
- RF受信機を金属面に取り付ける場合、ネオパネルワイヤレスは金属面に対して、RF受信機と同じ側になるように設置してください。
- 設備プレートなど、金属板の真上にRF受信機（アンテナ）を設置しないでください。
- 複数のRF受信機を設置する場合、機器同士は2 m以上離してください。
- 同一通信チャンネルのRF受信機を同一フロア内に密集して設置した場合には、通信がつながりにくくなることがあります。つながりにくい状況かどうかは、ループバックテストにより確認できます。
- アンテナに金属、ケーブルなどが接触しないようにしてください。
- PHSなど、他の電子機器から1 m以上離してRF受信機を設置してください。
- 通信ケーブル（コントローラ間通信ケーブル、LANケーブル、電源ケーブル）などは、RF受信機アンテナから50 cm程度離してください。

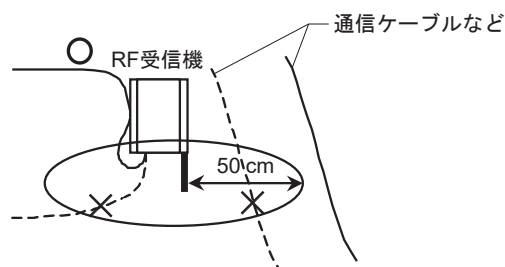


図4

- 天井板支持材からアンテナ先端までは10 cm以上離してください。
- 次のような場所への設置は避けてください。
 - 極端な振動がある場所
 - 腐食性ガスがある場所
 - 発熱物周辺など強い輻射を受ける場所
 - 電磁界の影響がある場所
 - 水がかかる場所

● RF受信機の取付手順

RF受信機の取付方法は3種類あります。

使用環境、設置条件を考慮し、適正な方法で正しく取り付けてください。

(1) 天吊棒に束線バンドで取付（図9参照）

- ① スイッチカバーを手前に引っ張って外し、周波数チャンネル、グループアドレスおよびUTアドレスを設定します。

（参照）『■ 設定作業』

設定が終わったら、スイッチカバーを取り付けます。

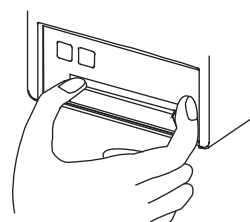


図5 スイッチカバーを外す

- ② 上下2か所にある突起部に空いた穴に束線バンドを通し、本体と天吊棒を締めつけて固定します。

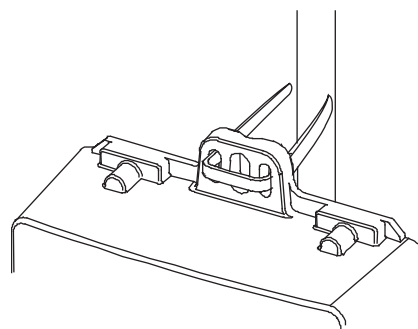


図6 束線バンド

- ③ コネクタ付きケーブル（形番940-SP-3088R）を本体の差込口に差し込み、反対側をコントローラのUSER I/Fコネクタに接続します。コネクタ付きケーブルの長さは最長50 mです。

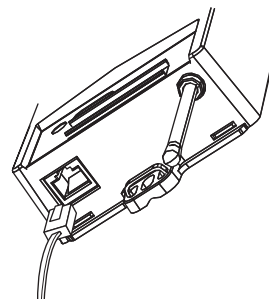


図7 コネクタ付きケーブル差込口

必要に応じて、本体左側面のケーブル固定用穴を利用してください。

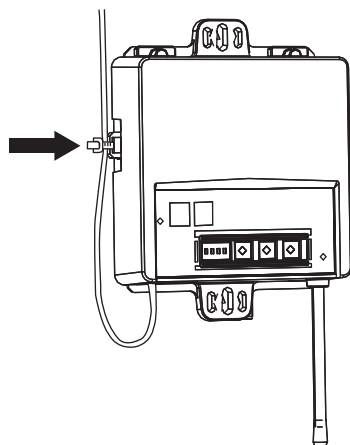


図8 ケーブル固定用穴

- ④ アンテナにケーブルや金属が接触していないか確認してください。

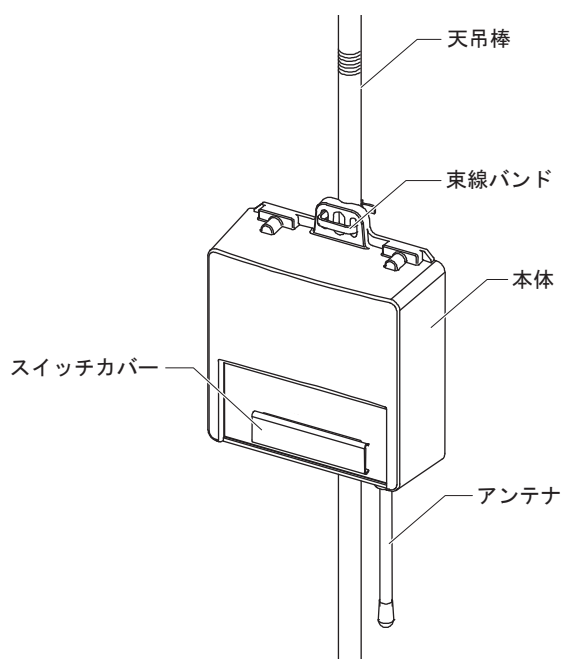


図9

(2) 天吊棒に金具取付 (図10参照)

- ① スイッチカバーを手前に引っ張ってはずし、周波数チャンネルとグループアドレスおよびUTアドレスを設定します。設定が終わったら、スイッチカバーを取り付けます。

(参照) 『■ 設定作業』

- ② 天吊棒にネグロス社 形番69B相当品 (別途手配品) 2個を5～10 mm程度の間隔を空けて、はめ込み、固定します。

- ③ 形番69B金具に付属されているM5ねじで、本体と形番69B相当品を固定します。

- ④ コネクタ付きケーブル (形番940-SP-3088R) を本体の差込口に差し込み (図7参照)、反対側をコントローラのUSER I/Fコネクタに接続します。コネクタ付きケーブルの長さは最長50 mです。

必要に応じて、本体左側面のケーブル固定用穴を利用してください (図8参照)。

- ⑤ アンテナにケーブルや金属が接触していないか確認してください。

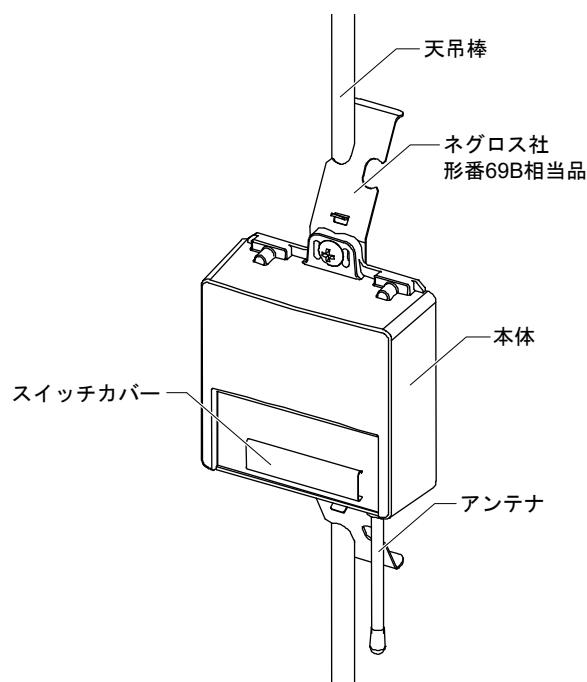


図10

(3) 壁直接取付 (図12参照)

- ① スイッチカバーを手前に引っ張ってはずし、周波数チャンネルとグループアドレスおよびUTアドレスを設定します。
設定が終わったら、スイッチカバーを取り付けます。

(参照) 『■ 設定作業』

- ② 本体をM3～M5ねじ (別途手配品) 2個で、壁に取り付けます。
M3ねじで取り付ける場合は、突起部の左右の穴、どちらかを使用して取り付けてください。
- ③ コネクタ付きケーブル (形番940-SP-3088R)を本体の差込口に差し込み (図7参照)、コントローラのUSER I/Fコネクタに接続します。コネクタ付きケーブルの長さは最長50 mです。
必要に応じて、本体左側面のケーブル固定用穴を利用してください (図8参照)。
- ④ アンテナにケーブルや金属が接触していないか確認してください。

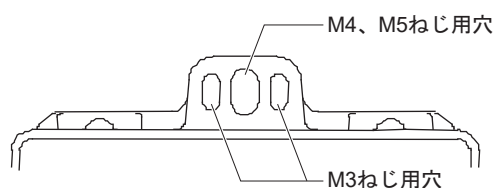


図11 ねじ用穴

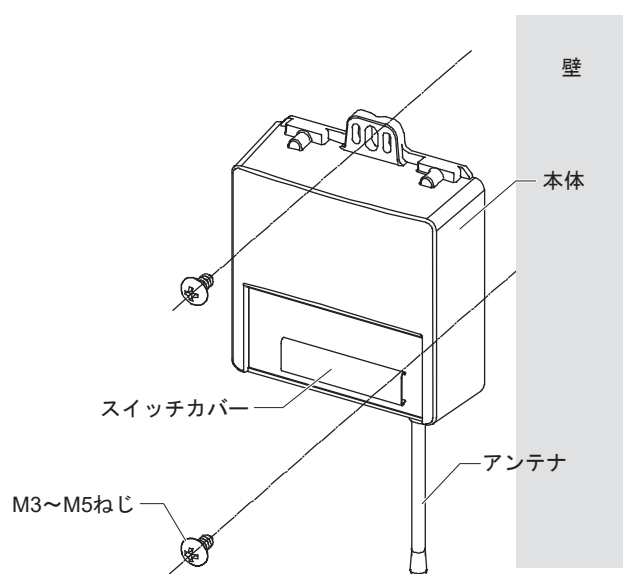


図12

● ネオパネルワイヤレスの施工時の注意

- RF受信機とネオパネルワイヤレスの間に、背の高い金属ロッカーなど (天井とのすき間が1 m以下になるようなもの) が設置されている場所へは、設置しないでください。
ネオパネルワイヤレスは電波で通信を行うため、RF受信機が電波を受信できる範囲内でご使用ください。
- ネオパネルワイヤレスは、計測に適した場所に設置してください。
取付高さは、床上1.5 m程度としてください。
- ネオパネルワイヤレスとRF受信機の間に、壁や背の高い棚などが無い場所に設置してください。
- パーティションに設置する場合は、できるだけパーティション上部に近づけてください。
- 複数のRF受信機を設置する場合、機器同士は2 m以上離してください。
- 同一通信チャンネルのRF受信機を同一フロア内に密集して設置した場合には、通信がつながりにくくなることがあります。
つながりにくい状況かどうかは、ループバックテストにより確認できます。
- 四方を金属に囲われる (メッシュ板を含む) 場所では伝送距離が短くなる場合があります。
- 次のような場所への設置は避けてください。
 - 直射日光が当たる場所
(LCDを傷める原因となることがあります)
 - 極端な振動がある場所
 - 腐食性ガスがある場所
 - 発熱物周辺など強い輻射を受ける場所
 - 電磁界の影響がある場所
 - 水がかかる場所
- 本体内部に切り粉や電線くずが入らないようにしてください。
- 設置後、センサを周囲の雰囲気十分に馴染ませてください。

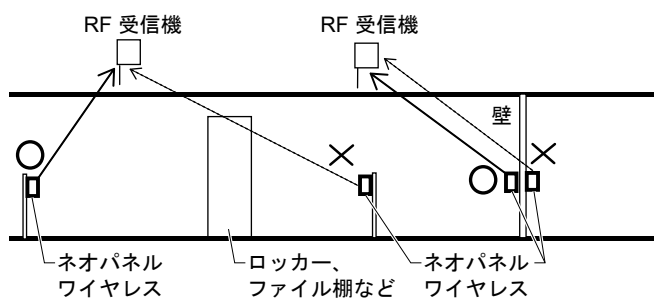


図13

● 取付手順

ネオパネルワイヤレスの取付方法は2種類あります。
使用環境や設置条件を考慮し、適正な方法で正しく取り付けてください。

(1) 壁直接取付（図14参照）

重要!! ●取付プレートを取り付けるとき、上下の向きを確認してください。

- ① 取付プレートを付属のM3～M4木ねじ2本で壁面に取り付けます（取付ねじ間隔は、83.5 mmです）。
- ② 対応するRF受信機の電源が投入されていることを確認します。
- ③ 本体の極性表示を確認して正しい方向に電池を2個入れます。
- ④ 周波数チャンネル、グループアドレスを設定します（このときの設定は、対応するRF受信機と合わせてください）。
- ⑤ RF受信機に2台のセンサ（ネオセンサワイヤレス温度/温湿度センサ、ネオパネルワイヤレスのいずれか）が接続される場合にはセンサを特定するためのセンサアドレスを設定します（このときの設定は“0”または“1”とし、センサごとに違うアドレスに設定してください）。
- ⑥ 取付プレートに本体を差し込みます（図15参照）。
- ⑦ 付属の本体取付M3ねじで取付プレートに固定します。

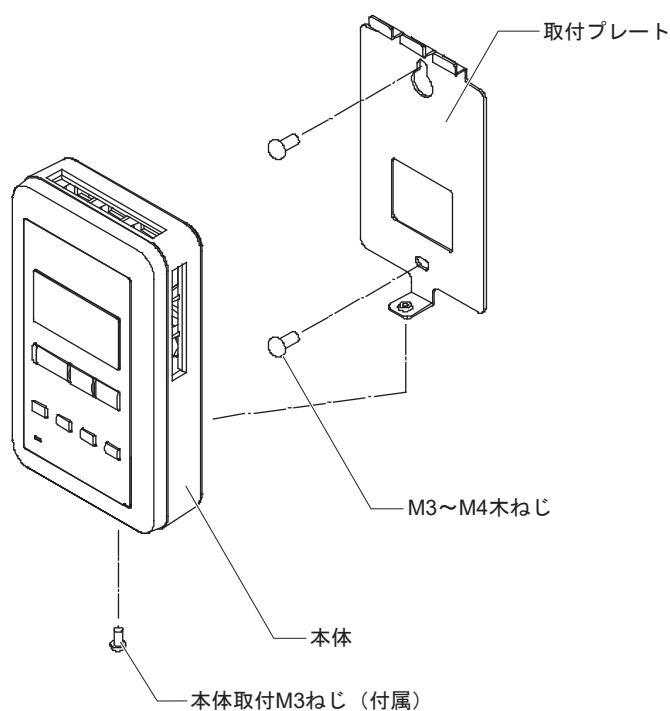


図14 壁直接取付

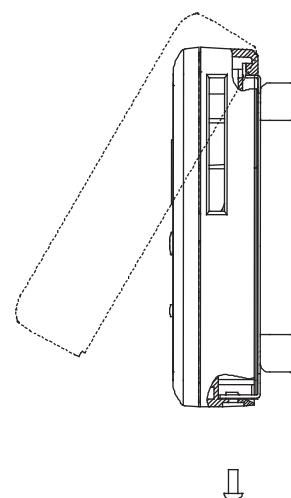


図15 取付プレートへの本体の差し込み

(2) JISボックス取付 (図16参照)

重要!! • 取付プレートを取り付けるとき、上下の向きを確認してください。

- ① 取付プレートを壁内のボックスカバー (JIS C8340 取付寸法83.5 mm使用 市販品) に付属のM4ねじで取り付けます。
- ② 対応するRF受信機の電源が投入されていることを確認します。
- ③ 本体の極性表示を確認して正しい方向に電池を2個入れます。
- ④ 周波数チャンネル、グループアドレスを設定します (このときの設定は、対応するRF受信機と合わせてください)。
- ⑤ RF受信機に2台のセンサ (ネオセンサワイヤレス温度/温湿度センサ、ネオパネルワイヤレスのいずれか) が接続される場合にはセンサを特定するためのセンサアドレスを設定します (このときの設定は“0”または“1”とし、センサごとに違うアドレスに設定してください)。
- ⑥ 取付プレートに本体を差し込みます (図17参照)。
- ⑦ 付属の本体取付M3ねじで取付プレートに固定します。

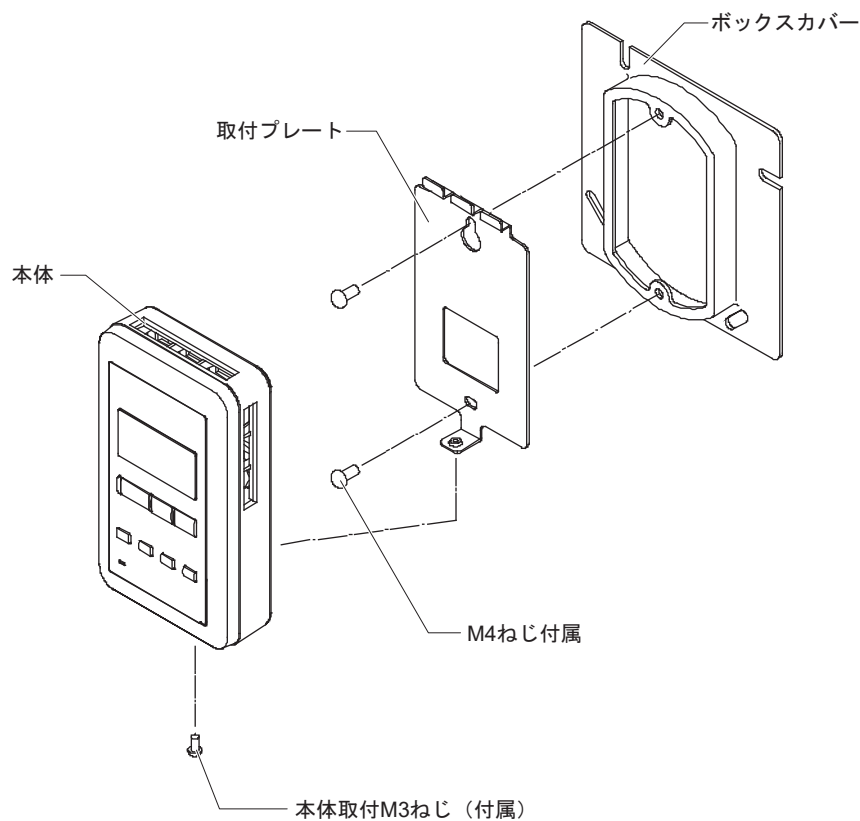


図16 JISボックス取付

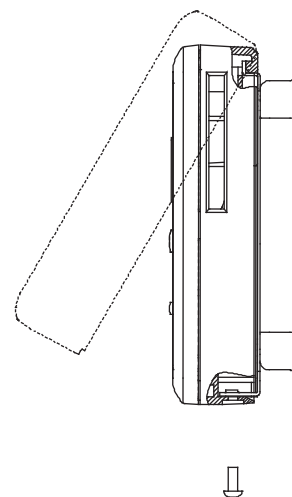


図17 取付プレートへの本体の差し込み

■ 操作内容

操作可否は接続されるシステム構成によります。

機 能	内 容	操作/表示	備 考
発停操作	VAV、ファンコイルユニット、エアハンドリングユニットなどの発停を行います。	「運転/停止ボタン」を押します。 運転中は液晶表示部に「運転中」と表示されます。	●中央監視からの発停とは後優先 ●中央より発停操作を禁止できる ●「セットバック操作」との併用は不可
設定操作	設定温度を変更します。	「▼／▲ボタン」を押します。 液晶表示部の温度設定表示が変更されます。	●中央監視からの発停とは後優先 ●中央より設定値の上下限を指定できる ●2設定方式に対応可能*1
セットバック操作	セットバック運転*2への切り替えを行います。	「運転/停止ボタン」を押します。 セットバック運転中は液晶表示部に「停止」と表示されます。	●中央監視からのセットバックとは後優先 ●中央よりセットバック操作を禁止できる ●「発停操作」との併用は不可
風量切替操作	ファンコイルユニットの風量（L/M/H/AUTO）を切り替えます。	「風量切替ボタン」を押します。 液晶表示部の風量表示が変更されます。	●中央監視からの風量切替とは後優先
表示切替操作	液晶表示部の表示内容を切り替えます。	「表示切替ボタン」を押します。 液晶表示部の内容が室内温度・外気温度に変更されます。	
温度単位切替操作	液晶表示部の温度表示の単位を切り替えます。	「°C/°Fボタン」を押します。 液晶表示部の温度単位が°C/°Fに切り替わります。	
延長運転操作	VAV、またはファンコイルユニットのタイムスケジュールによる停止時刻を延長します。	「タイマーボタン」を押すと、液晶表示部に空調停止時刻が現れます。「▼／▲ボタン」を押すと、停止時刻が変更されます。	●タイムスケジュールは中央監視で設定
グループ管理	複数のVAVまたはファンコイルユニットをまとめて発停・温度設定などを行います。		●ネオパネルから操作するグループの単位は、中央監視でのグループの単位と一致させること

*1 2設定方式とは、冷房設定と暖房設定を別にもつ設定方式です。

*2 セットバック運転とは、設定温度を変更することにより省エネルギー運転を行う機能です。

● 各機能と対象コントローラ

	Inflex AC	Inflex GC	Inflex GD	InflexVC	InflexFC
発停操作	○	○	○	○	○
設定操作	○	○	○	○	○
セットバック操作				○	○
風量切替操作					○
表示切替操作	○	○	○	○	○
温度単位切替操作	○	○	○	○	○
延長運転操作				○	○
グループ管理				○	○

■ 設定作業

RF受信機とネオパネルワイヤレスを対応させるため、次の設定を行ってください。対応するRF受信機とネオパネルワイヤレスには、同じチャンネルとグループアドレスを設定してください。

● 概要

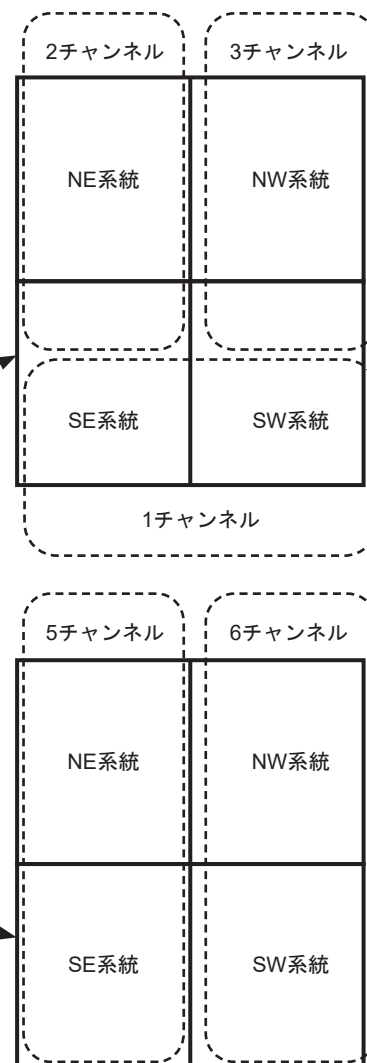
- 電池切れ予告表示
(ネオパネルワイヤレスのみの設定)
電池切れ予告表示ありの場合は「1」、なしの場合は「0」を設定してください。
- 周波数チャンネル
周波数チャンネルは、「1」～「9」までのいずれかを設定してください。
- グループアドレス
同じ周波数チャンネル内で、対応するセンサと受信機を特定するために設定します。
「1」～「99」の99アドレスが設定できます。
- UTアドレス (RF受信機のみの設定)
ネオパネル2 (形番QJ-1301)、またはネオパネル (形番QY7205／形番QY7215／形番QY7225) と同時接続した場合に上位コントローラがネオパネルかRF受信機かを特定するために設定します。
「1」、または「2」のアドレス設定ができます。
- センサアドレス
(ネオパネルワイヤレスのみの設定)
RF受信機には最大2台のセンサ(ネオセンサワイヤレス/ネオパネルワイヤレス)が接続可能であり、センサを特定するためにセンサ側でアドレスを設定します。
「0」、または「1」のアドレス設定ができます。

- 重要 !!**
- 周波数チャンネル、グループアドレス設定のため、小さなマイナスドライバ (2.0～2.2 mm 巾) を用意してください。
 - ワイヤレス通信の混信を防ぐため、次の設置条件を守ってください。
 - 同一フロアで使用するネオパネルワイヤレスは、1チャンネル当たり30台以下としてください。
(RF受信機に2台目として接続するネオパネルワイヤレスも含みます。)
30台を超える場合は、周波数チャンネルを変更してください。
 - 同一フロアで使用する周波数チャンネルは、最大3チャンネル以下としてください。
 - 上・下階フロア、2階上・2階下のフロアとはチャンネルおよびグループアドレスが重複しないようにしてください。
 - 本製品は、対応するRF受信機の電源が投入されている状態を確認してから、電源を投入してください。
対応するRF受信機がない状態が続くと電池を消耗してしまいます。
 - 電池ふたの裏には記入ラベルがあります。
設定した周波数チャンネル、グループアドレス、センサアドレスをここへ記入してください。

表2 チャンネル・グループの割付例

		フロア当たりのネオパネルワイヤレス設置台数							
		1～30台まで		1～60台まで		1～90台まで			
階	チャンネル	グループ	チャンネル	グループ	チャンネル	グループ			
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
19F	1	61～90	5	6	31～60	1	2	3	1～30
18F	9	31～60	3	4	31～60	7	8	9	61～90
17F	8	31～60	1	2	31～60	4	5	6	61～90
16F	7	31～60	7	8	1～30	1	2	3	61～90
15F	6	31～60	5	6	1～30	7	8	9	31～60
14F	5	31～60	3	4	1～30	4	5	6	31～60
13F	4	31～60	1	2	1～30	1	2	3	31～60
12F	3	31～60	7	8	61～90	7	8	9	1～30
11F	2	31～60	5	6	61～90	4	5	6	1～30
10F	1	31～60	3	4	61～90	1	2	3	1～30
9F	9	1～30	1	2	61～90	7	8	9	61～90
8F	8	1～30	7	8	31～60	4	5	6	61～90
7F	7	1～30	5	6	31～60	1	2	3	61～90
6F	6	1～30	3	4	31～60	7	8	9	31～60
5F	5	1～30	1	2	31～60	4	5	6	31～60
4F	4	1～30	7	8	1～30	1	2	3	31～60
3F	3	1～30	5	6	1～30	7	8	9	1～30
2F	2	1～30	3	4	1～30	4	5	6	1～30
1F	1	1～30	1	2	1～30	1	2	3	1～30

建物断面図



建物平面図

● RF受信機

重要!! ●UTアドレス以外のディップスイッチは、変更しないでください。

- 周波数チャンネル、グループアドレスを設定する場合は、ロータリスイッチが確実に番号の位置に合うようにしてください。

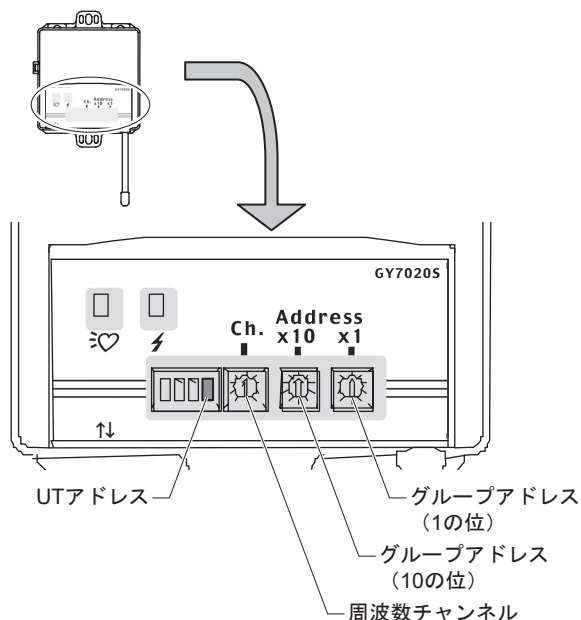


図18 各スイッチの位置 (RF受信機)

- 周波数チャンネル
小さなマイナスドライバを使用し、ロータリスイッチで設定します。
9チャンネルが設定可能です。
- グループアドレス
小さなマイナスドライバを使用し、ロータリスイッチで設定します。
「1」から「99」までの設定が可能です。
- UTアドレス
小さなマイナスドライバを使用し、ディップスイッチの4ビット目が下でUTアドレス「1」、上でUTアドレス「2」の設定となります。
その他のビットはすべて下で固定です (図19参照)。

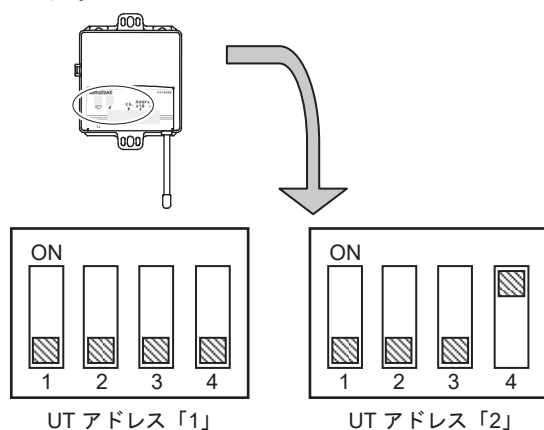


図19 UTアドレススイッチ拡大図

● ネオパネルワイヤレス

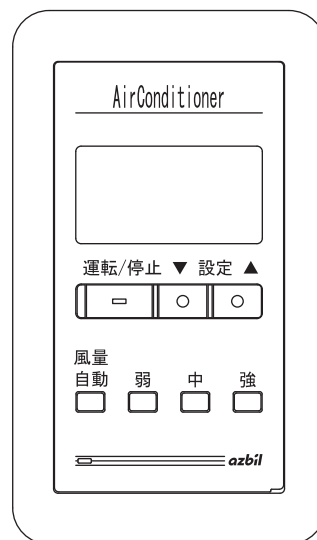


図20

- ① ▼ボタンと▲ボタンを同時に3秒以上押しなが
ら、運転/停止ボタンを押します (図20参
照)。

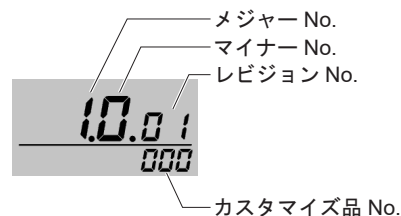


- ② 画面に“0”表示されたあと、▼ボタンと▲ボ
タンで“5”を指定し、運転/停止ボタンを押
します。



重要!! ●“5”以外のメニューは選択しないでくださ
い。選択してしまった場合は、もう一度①から
やり直してください。
▼ボタンと▲ボタンを同時に3秒以上押しなが
ら、運転/停止ボタンを押します。

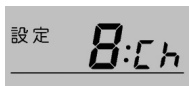
- ③ ソフトウェア改番が表示されます。
4秒間経過すると、④の状態になります。



- ④ 電池切れ予告表示の有無を▼ボタンと▲ボタ
ンで選択し、運転/停止ボタンで確定します。
1: 有、0: 無



- ⑤ 周波数チャンネル（1～9）を設定します。
▼ボタンと▲ボタンで選択し、運転／停止ボタンで確定します。再度運転／停止ボタンを押すと、次画面へ移行します。



- ⑥ グループアドレス（1～99）を設定します。
▼ボタンと▲ボタンで選択し、運転／停止ボタンで確定します。再度運転／停止ボタンを押すと、次画面へ移行します。



- ⑦ センサアドレス（0、または1）を設定します。
▼ボタンと▲ボタンで選択し、運転／停止ボタンで確定します。再度運転／停止ボタンを押すと、次画面へ移行します。



設定後、数十秒間経過すると、⑧の状態になります。

重要!! ●⑤、⑥、⑦の間に限ってループバックテストができます。
(参照) 『●ループバックテスト』

- ⑧ コントローラアドレスが表示されます。



- ⑨ ⑧の操作に続きLCD全画面表示確認、計測値確認（センサ付きの場合のみ）、キー入力確認ができます。
- ⑩ ▼ボタンと▲ボタンを同時に3秒以上押しながら、運転／停止ボタンを押して設定を完了します。

● 組み合わせ確認

ネオパネルワイヤレスとRF受信機の周波数チャンネルの設定、グループアドレスの設定が完了したあと、その組み合わせで実際に計測値が正しく変化することを確認してください。

重要!! ●系統チェック時は、ネオパネルワイヤレスとRF受信機の組み合わせで計測値を変化させ、組み合わせが正しいことを確認してください。
中央監視の計測値が正しく表示されていることを確認するだけでは、誤って他系統と接続した場合に、その間違いに気が付けなことがあるります。

● ループバックテスト

ループバックテストとは、RF受信機とネオパネルワイヤレスの接続状態を確認するテストです。
電波状況は変動するため、数回テストを行うようにしてください。

ループバックテストは、前項『■ 設定作業』の⑤、⑥、⑦の間に限り可能です。

運転／停止ボタン、▼ボタン、▲ボタンを同時に3～4秒押してください。LCDの表示により、現在の接続状態が判断できます。ループバック実行中は、Lbが表示されます。この状態になってから15秒以内に判定結果が出ます。

LCD表示	状 態
	良好
E2	設置位置の電波状況が悪く、時間内に電波が届かない状態（設置位置をずらしてください）
E3	設置位置の電波状況は良好ですが、周囲に同一通信チャンネルのRF受信機、デジタル設定器が設置されており、電波を受信しにくくなっている状態 (周波数チャンネルを変更してください)

重要!! ●ループバックテスト時にボタンを5秒以上押さないでください。工場検査モードに切り替わり、電池を消耗するおそれがあります。

■ 調 整

ネオパネルの機能のうち、次の項目については、コントローラのパラメータ設定により変更することができます。パラメータ設定の操作については、各コントローラの「調整説明書」を参照してください。

● 常時表示内容

常時表示する内容の組み合わせを次の中から選択できます。

大表示エリア		小表示エリア
● 室内設定 ● 室内温度 ● 現在時刻	+	● 外気温度 ● 室内温度 ● 表示なし

● 冷暖表示

冷房・暖房・送風の状態を表示する/しないを指定できます。

■ 保 守

製品出荷時には、製品表面にシート保護用の膜が貼ってあります。ご使用いただく場合には、この膜をはがしてください。

特別な保守は不要です。

なお、交換時は製品全体での交換となります。

● リチウム電池交換

使用開始（電池を入れたとき）から3年以内に、リチウム電池を交換してください。

リチウム電池はデジタルカメラ用リチウム電池（形番CR-V3）2本をご使用ください。

電池寿命は測定環境、周囲温度、電池の性能などにより異なります。

電池交換時は2個同時に同一メーカーの新しい電池を使用してください。

各電池のパッケージに記載されている使用方法をよく読み、指定された方法に従って使用してください。

- (1) 電池ふたを外します（図21参照）。
- (2) 電池上部の切り欠きに指を入れ、古い電池を引き抜きます。
- (3) 本体の電極表示（+と-）を確認して、新しい電池を入れます。

重要 !! ●電池を誤った向きで無理やり入れると、製品故障の原因になります。
切り欠き部を手前にして挿入してください（図22参照）。

- (4) 電池ふたをします。

重要 !! ●本製品の電池ふた裏表面には記入ラベルがあります。電池交換日をここへ記入してください。

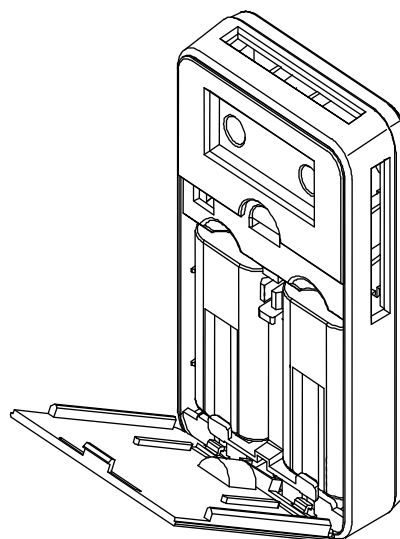


図21

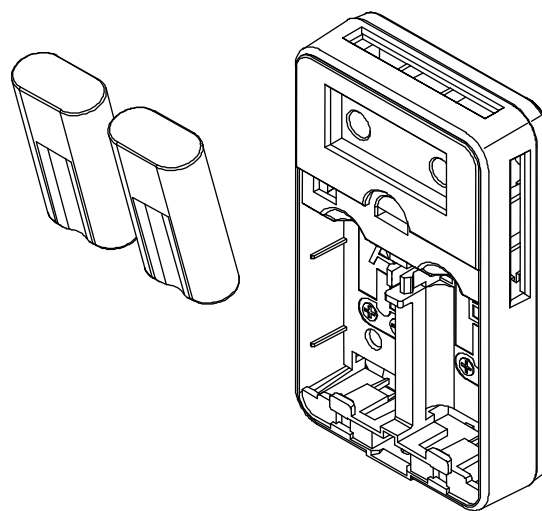


図22

● 故障かな？と思った場合の確認方法

異常状態	点検箇所	確認内容	対 処
LCDの中央に「・」のみ表示される。	コントローラの設定	ネオパネル関連パラメータが正しく設定されているか。	ネオパネル関連パラメータを正しく設定する。
	RF受信機、ネオパネルワイヤレスの設定	ペアとなるRF受信機、ネオパネルワイヤレスのチャンネル、グループが一致しているか。	ペアとなるRF受信機、ネオパネルワイヤレスのチャンネル、グループを一致させる。
		他のRF受信機、ネオパネルワイヤレスのペアとチャンネル、グループが重複していないか。	重複しないよう設定をし直す。
		センサアドレスが重複していないか（受信機1台にネオパネルワイヤレス2台接続時）。	重複しないよう設定をし直す。
		チャンネル、グループ設定用のロータリスイッチが中途半端な位置で止まっていないか。	ロータリスイッチを正しい位置で止める。
	無線通信状態	ネオパネルワイヤレスをRF受信機に近づけたとき、電波が届いているか（ループバック機能で確認）。	ネオパネルワイヤレスの設置場所を変更する。
	RF受信機の通信線	コントローラの電源が入っているか。	コントローラの電源を入れる。
		コントローラとの接続は正しいか。	ネオパネル通信用のコネクタに接続する。
		コネクタの接触不良はないか。	コネクタにカチッと音がするまではめ込む。
		断線していないか。	通信線を交換する。
	RF受信機のアンテナ	アンテナの破損やアンテナと本体との接続部の緩みがないか。	RF受信機を交換する。
		アンテナに金属や配線などが接触していないか。	アンテナから金属や配線を遠ざけるか、RF受信機の設置位置を変更する。
	RF受信機の設定	UTアドレスの重複はないか（有線ネオパネルと2台接続時）。	重複しないよう設定をし直す。
LCDの表示が出ない。	LCDの表示	製品情報設定モードに移行し、LCD全画面表示ができるか (参照)『● ネオパネルワイヤレス⑧』	表示に異常がある場合はネオパネルワイヤレスを交換する。
LCDに電池残量低下マークが表示される。	電池の消耗	電池電圧が低下していないか（コントローラのポイントまたはテスターで確認）。	電池を交換する。
発停操作、設定操作後暫くすると元の値に戻る。	RF受信機の通信線	コントローラの電源が入っているか。	コントローラの電源を入れる。
		コントローラとの接続は正しいか。	ネオパネル通信用のコネクタに接続する。
		コネクタの接触不良はないか。	コネクタにカチッと音がするまではめ込む。
		断線していないか。	通信線を交換する。
	中央監視の運用	空調停止時間帯でないか。	空調停止時間帯を解除する。
発停操作ができない。	コントローラポイント	空調運転操作受付可否ポイントが受付禁止の状態になっていないか。	空調運転操作受付可否ポイントを受付許可にする。
	中央監視の運用	空調停止時間帯でないか。	空調停止時間帯を解除する。
キー操作がきかない。	キー操作	キー操作したとき画面が変わるか。	ネオパネルワイヤレスを交換する。
計測値が上下限值に貼り付いたまま変化しない。	ネオパネルワイヤレス周囲環境	ネオパネルワイヤレス周囲の温度がセンサの温湿度計測範囲内か。	センサ素子または計測回路が断線または短絡している可能性が高いのでネオパネルワイヤレスを交換する。
計測値がずれている。	内蔵センサの精度	計測誤差は精度の範囲内か。	誤差が大きい場合はコントローラで補正するか、ネオパネルワイヤレスを交換する。
計測値が変動する。	内蔵センサ周囲環境	センサ周囲の温度が安定しているか	周囲温湿度が安定している場合はネオパネルワイヤレスを交換する。

■ 廃 棄

本製品が不用になったときは、産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。
また、本製品の一部、または全部を再利用しないでください。

ネオセンサ、ネオパネル、Inflex、savic-netはアズビル株式会社の商標です。
LON[®]は、米国およびその他の国で登録されたEchelon社の商標です。

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー

azbil

[ご注意] この資料の記載内容は、予告なく変更する
場合もありますのでご了承ください。

お問い合わせは、コールセンターへ

0120-261023

<https://www.azbil.com/jp/>

ご用命は、下記または弊社事業所までお願いします。